

髪

崎山 ひろみ

子どもの頃
髪がおおく硬いので
散髪屋でいつも
なかの方を削いでもらった

女学生で学徒動員
髪を軍需品として献納するため
のばすよう命じられた
切ると非国民となる
みつあみにした髪が
あまりにも硬いので、
制服の襟がすり切れた

日本の敗戦
ソ連兵が幾万と侵攻
若い女は逃げまどう
長く伸びた髪をバツサリと切り
坊主頭になる
バリカンの感触
蠅の足の感触
満州の秋の風

古希となり
髪は細くやわらかくなる
もうばんばらなくてよいと思う

2000. 8. 15 記